

東海市柔道会「柔道指導会」記録

はじめに

この記録は、平成21年9月5日(土)に東海市民体育館柔道場において行われた東海市柔道会主催による「柔道指導会」のものである。この会の概要は以下の通りである。

趣旨 東海市内の小・中学生およびその指導者を対象に、柔道に練達した講師を招き、その本物の技術と理論に接し、また稽古に取り組む心構えに触れることにより、技術力・精神力の向上を図る。

主催 東海市柔道会

後援 東海市教育委員会

NPO 法人愛知国際柔道自然塾

対象者 原則として東海市内の小・中学生・高校生およびその指導者・保護者

講師 二村雄次

- ・講道館柔道六段
- ・愛知県がんセンター総長
- ・愛知県病院事業庁長官
- ・名古屋大学柔道部師範
- ・全日本柔道連盟医科学委員会副委員長
- ・日本オリンピック委員会強化スタッフ
- ・日本体育協会公認スポーツドクター

高濱久和

- ・講道館柔道八段
- ・NPO 法人愛知国際柔道自然塾師範
- ・名古屋大学柔道部師範
- ・全日本柔道連盟審判委員会委員
- ・全日本柔道連盟教育普及委員(4期8年)
- ・平成6年わかしゃち国体柔道競技総監督

日程

9:30-10:00	10:10-11:00		11:10-11:30	11:30-11:40
開会式	講義・実技指導 1)二村先生	休憩	講義・実技指導 2)高濱先生	閉会式

1) 二村先生による講義・実技指導



二村先生には生涯柔道を続けてきたことで人生にいか
に豊かになったかということをお話しいただきました。

現在でもシニアの試合に出場し、現役部員との乱取りも
行うようにしていることを語られ、体力に自信があるとい
うことが、様々なことに取り組む上での自信になってきた
ということを語られ、子供たちも体力があれば勉強もしっ
かりできると励まされました。

また、二村先生は高校1年生の時に柔道を始められ、
参加者の子供たちの年齢のころには、未だ柔道を始めて
いなかったことも語られ、若いうちから柔道を学べること
の素晴らしさについて話されながら、子供たちがこれからも柔道を長く続けていってほ
しいと、願いを込めて話されました。

実際、私たちも日頃から体を差し出していただき、技を受けていただいております。
60歳を過ぎた体でバリバリの現役でいる二村先生を拝見し筆者自身もかくありたいと
思っています。

実技指導では、最初に「足けり」や「えび」、「円の形」などの基本の動きを指導いた
だいた後、引き込んだ形からの正対の基本形から始め、返し技までの動きを段階的
に説明していただきながら練習するという形でご指導をしていただきました。

2) 高濱先生による講義・実技指導

高濱先生には柔道が日本だけでなく世界中で行われて
いる競技であり、柔道を通じて世界中の人々と交流が
できるというお話をいただきました。その中で、人に何かを
してもらったときにお礼を言うことの大切さを強調され、柔
道とともにそのことを学ばなければならないと語られまし
た。

また、柔道の持つ自他共栄の精神について、ただ強く
なればよいのではなく、人として成長し、他者のために何
かができるようにならなければならないことを語られました。

高濱先生は、常日頃から「溺れている人に手を差し伸べる

精神」を説かれます。溺れている人を見て、声を掛けるだけ、見ているだけでなく、手
を差し伸べられる者になりなさいというものです。ただ強くなればいいのではなく、人
として成長しなければならないということを、再確認することができました。

実技指導では、打ち込みで、相手をしっかりと崩してから技をかけること、受ける相
手もきちんと組んで受けることなどを指導していただきました。また、しっかりとした受



けの形ができれば返し技に入ることができるということを実演していただきました。

この中で高濱先生は、しっかりした打込みを行うことは、受ける側にとってもよい練習になる。しっかりした受けが出来ていることで初めて返し技が有用になるとお話しいただき、立ち技の基礎である打込みの中にも自他共栄の精神があるのだとお話しになりました。

部員所感

この度は、参加者の子供たちへの指導の手伝いをさせていただくということで、柔道指導会に参加させていただきました。会場に着いて、まずは道場が狭く感じられるほどの多くの子供たちが参加していることに驚きました。自分は大学に入って柔道を始めたこともあり、教える側になるという経験はほとんどないので、多少戸惑うこともありましたが、部員の中でも子供のころから柔道をやっている者は子供たちへの教え方も上手で見習うべきと感じました。

子供たちは、小さい子でもしっかりと先生の話聞いていましたし、特に先生が技を実演しているときにはどの子も集中して見入っているのがわかりました。また、子供たちは新しく教わることを楽しそうに練習しており、また、乱取では早速実践し、子供たちの吸収力に驚かされました。二村先生の話にもありましたが、柔道を子供のころから教わるのができるのはとても良いことだと思います。



自分は柔道を始めたのが大学からということもあって、子供の頃に柔道を教わった子が柔道を続けないのはとてももったいないことだと思います。今回参加した子供たちには、是非これからも柔道を続けていってほしいと思います。

謝辞

この度の柔道指導会に参加させていただいたことに感謝し、そして、講師の二村先生、高濱先生、東海市柔道会、新日鉄柔道部の皆様、ならびにご協力いただいたすべての関係者の皆様にこの場で心よりの感謝を申し上げます。

そして、東海市柔道会の一層の発展と参加者の子供たちの成長を祈念致します。

文責：島井栄允